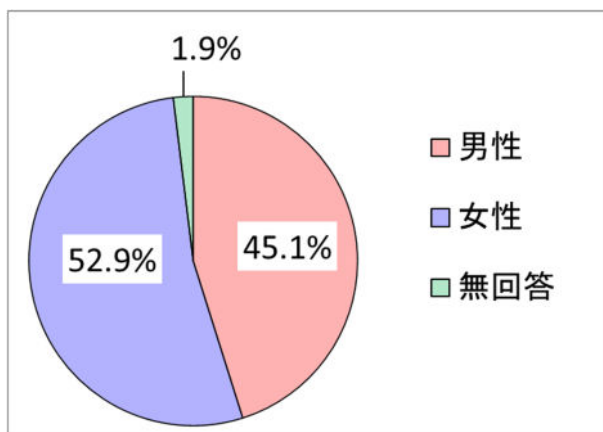


「ながさき森林環境税」に関する県民意識調査の結果

- アンケート期間: 令和8年5月22日～6月19日(29日間)
 - 調査目的: 平成19年度から、豊かな森林を社会全体で支える仕組みとして、「ながさき森林環境税」を導入しており、令和8年度に第4期ながさき森林環境税の課税期間が終了するため、今後の「ながさき森林環境税」のあり方や事業組み立てについて、県民の皆様のご意見を施策に反映させる。
 - 調査対象: ながさきWEB県政アンケート全モニター428名
 - 回答状況: 回答者308名(回答率72%)
 - 調査担当課: 農林部林政課
- 小数点以下第1位を四捨五入しているため、構成割合の合計が100%にならない場合があります。

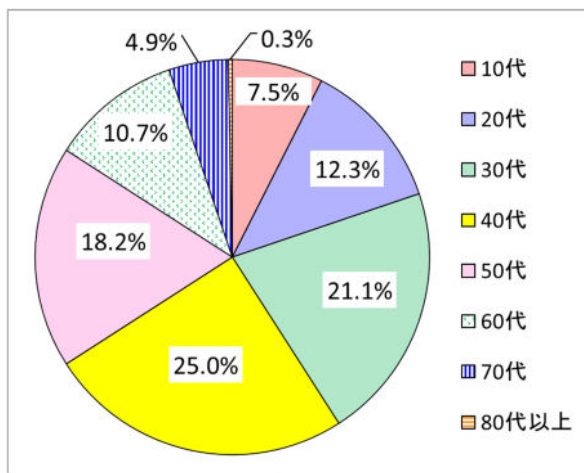
回答者の属性

性別構成比率



性別	人数	割合
男性	139	45.1%
女性	163	52.9%
無回答	6	1.9%
合計	308	100.0%

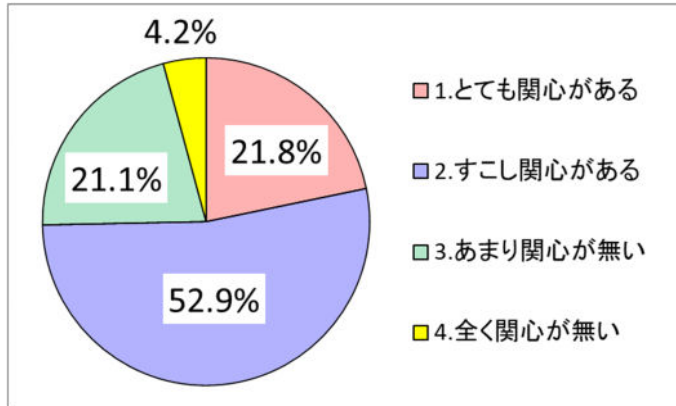
年齢構成比率



年齢	人数	割合
10代	23	7.5%
20代	38	12.3%
30代	65	21.1%
40代	77	25.0%
50代	56	18.2%
60代	33	10.7%
70代	15	4.9%
80代以上	1	0.3%
合計	308	100.0%

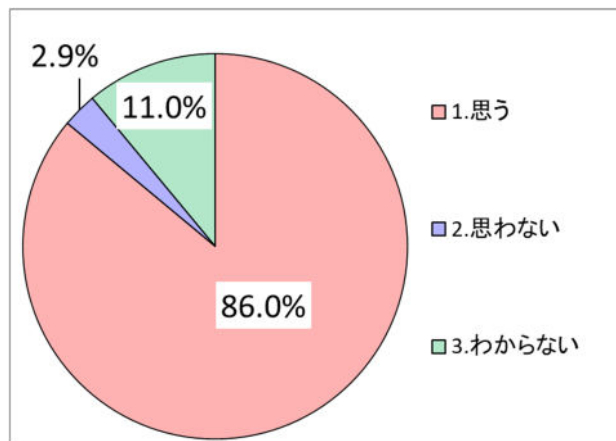
アンケート結果

質問1. 長崎の森林について関心がありますか。



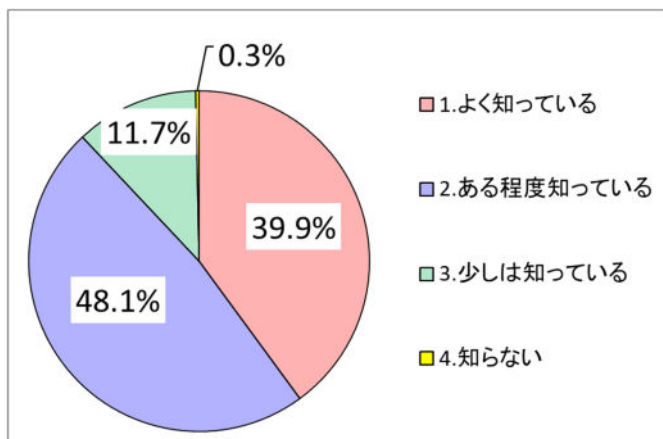
項目	回答数	割合
1. とても関心がある	67	21.8%
2. すこし関心がある	163	52.9%
3. あまり関心が無い	65	21.1%
4. 全く関心が無い	13	4.2%
合計	308	100.0%

質問2. 森林は私たちの暮らしや産業を支えるのに大きな役割を果たしていると思いますか。



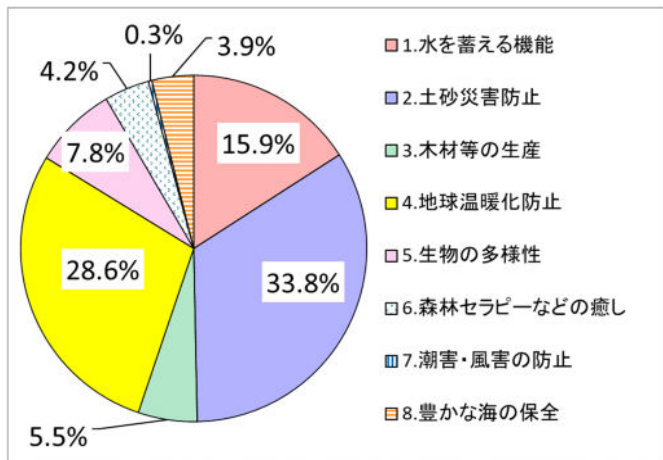
項目	回答数	割合
1. 思う	265	86.0%
2. 思わない	9	2.9%
3. わからない	34	11.0%
合計	308	100.0%

質問3. 森林には、地球温暖化防止・土砂災害防止など、様々なはたらきがあることを知っていますか。



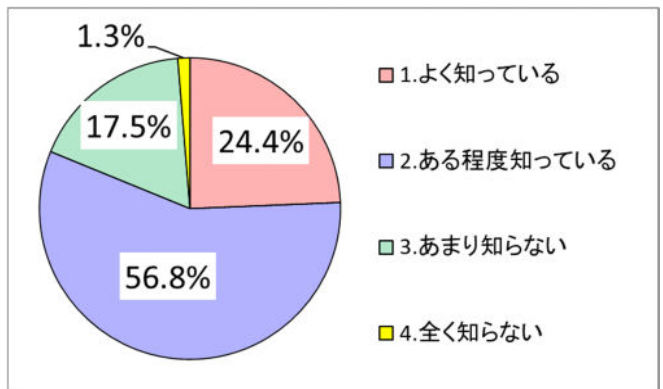
項目	回答数	割合
1. よく知っている	123	39.9%
2. ある程度知っている	148	48.1%
3. 少しは知っている	36	11.7%
4. 知らない	1	0.3%
合計	308	100.0%

質問4. 森林の様々なはたらきの中で、あなたが最も期待するはたらきを1つだけ選んでください。



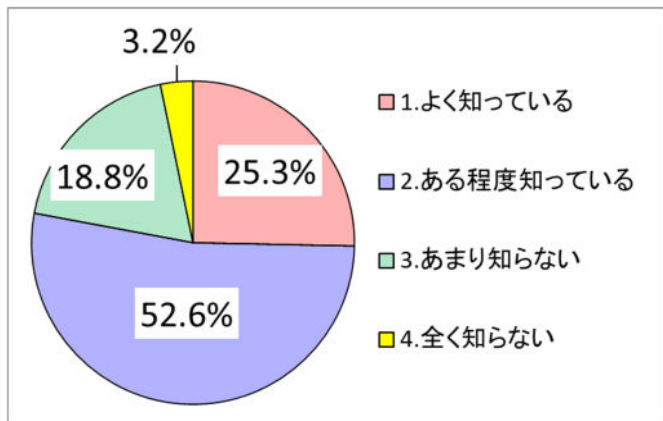
項目	回答数	割合
1.水を蓄える機能	49	15.9%
2.土砂災害防止	104	33.8%
3.木材等の生産	17	5.5%
4.地球温暖化防止	88	28.6%
5.生物の多様性	24	7.8%
6.森林セラピーなどの癒し	13	4.2%
7.潮害・風害の防止	1	0.3%
8.豊かな海の保全	12	3.9%
合計	308	100.0%

質問5. 森林の管理が十分に行われないと、森林の持つ様々なはたらきが低下することを知っていますか。



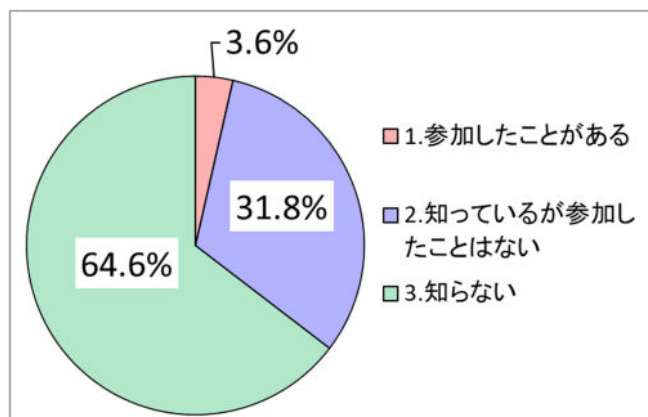
項目	回答数	割合
1.よく知っている	75	24.4%
2.ある程度知っている	175	56.8%
3.あまり知らない	54	17.5%
4.全く知らない	4	1.3%
合計	308	100.0%

質問6. 間伐(木の混み具合を調整する伐採)を行うことで環境が守られていることを知っていますか。



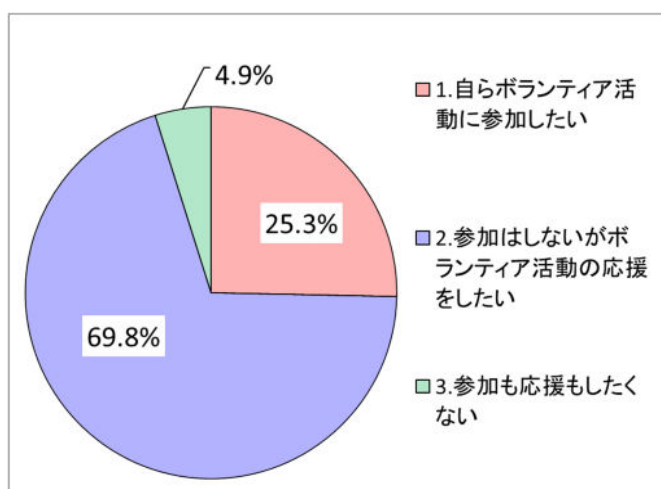
項目	回答数	割合
1.よく知っている	78	25.3%
2.ある程度知っている	162	52.6%
3.あまり知らない	58	18.8%
4.全く知らない	10	3.2%
合計	308	100.0%

質問7. 間伐など森林整備を行う森林ボランティア団体を知っていますか。または参加したことがありますか。



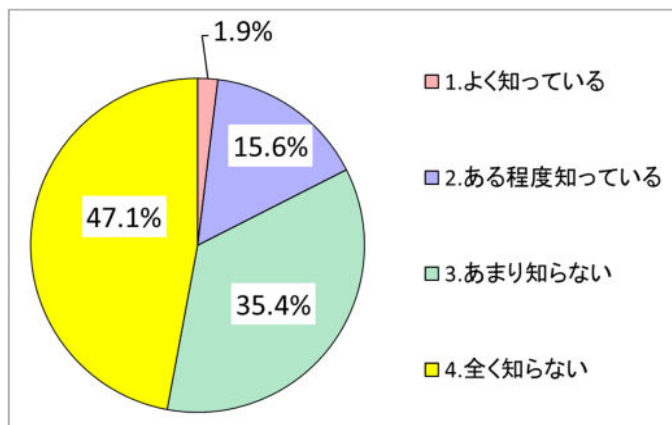
項目	回答数	割合
1. 参加したことがある	11	3.6%
2. 知っているが参加したことはない	98	31.8%
3. 知らない	199	64.6%
合計	308	100.0%

質問8. 森林ボランティア活動に参加するとしたら、どのような形で参加したいと思いますか。



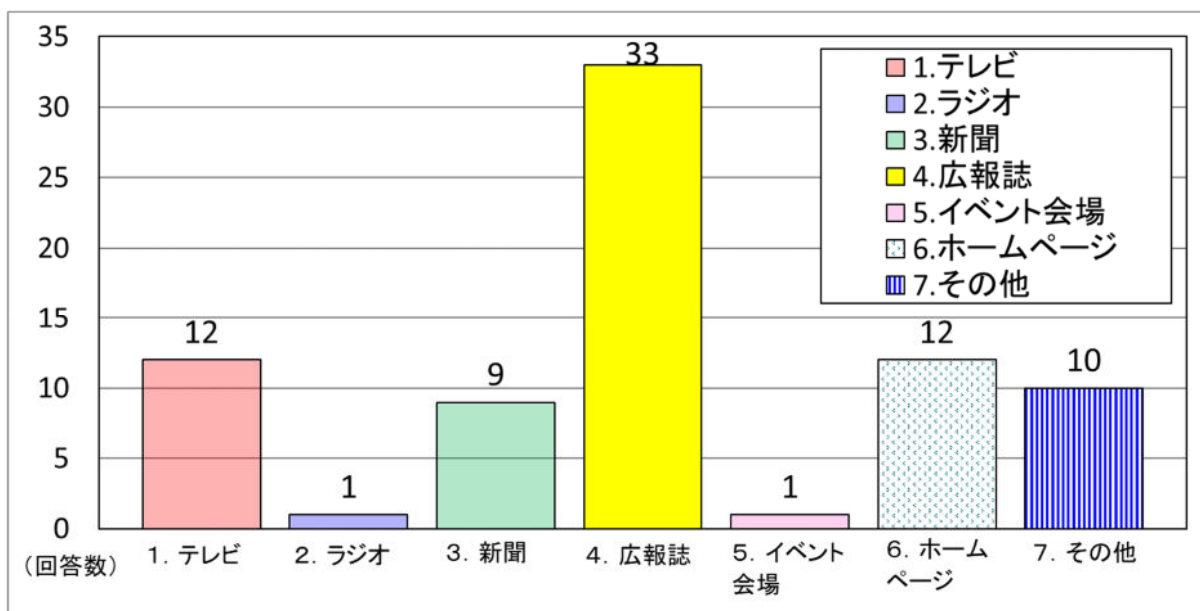
項目	回答数	割合
1. 自らボランティア活動に参加したい	78	25.3%
2. 参加はしないがボランティア活動の応援をしたい	215	69.8%
3. 参加も応援もしたくない	15	4.9%
合計	308	100.0%

質問9. 社会全体で森林を支える仕組みとして導入されている「ながさき森林環境税」を知っていますか。



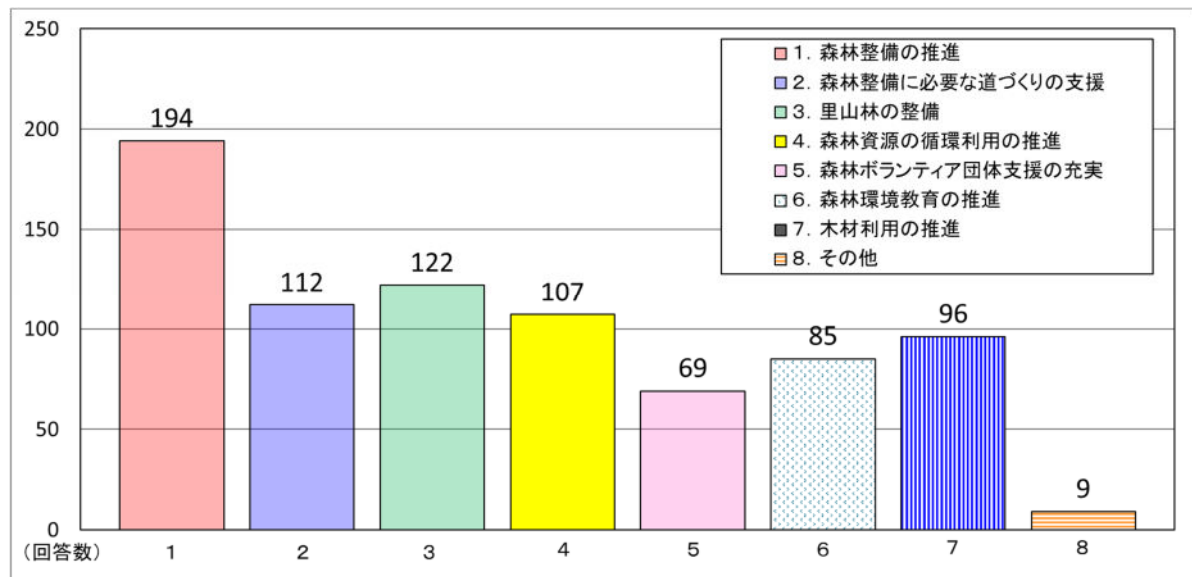
項目	回答数	割合
1. よく知っている	6	1.9%
2. ある程度知っている	48	15.6%
3. あまり知らない	109	35.4%
4. 全く知らない	145	47.1%
合計	308	100.0%

質問10. (質問9で、「1よく知っている」「2.ある程度知っている」と答えた人のみ)
「ながさき森林環境税」をどのような情報で知りましたか。【複数回答可】

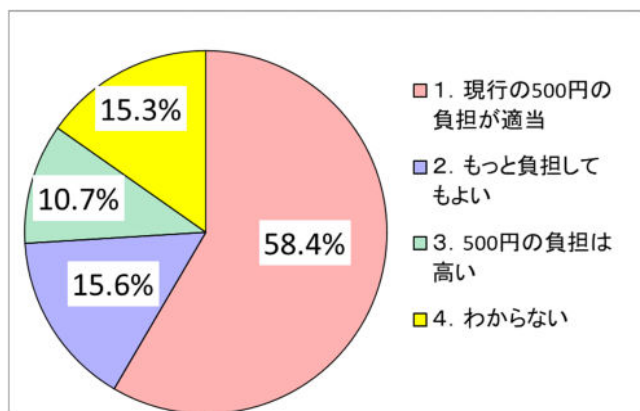


質問11. 今後も「ながさき森林環境税」を活用する場合どのような取り組みを希望されますか。【3つまで回答可】

項目	ながさき森林環境税で実施している事業	R4～R6実績
1. 森林整備の推進	荒廃した人工林の間伐を支援	526ha
2. 森林整備に必要な道づくりの支援	効率的な森林整備のために必要な森林作業道の開設を支援	518km
3. 里山林の整備	荒廃した天然林等を整備し、身近で親しみやすい里山づくりを実施	88ha
4. 森林資源の循環利用の推進	公益的機能の維持に配慮した計画的な植栽等を支援	71ha
5. 森林ボランティア団体支援の充実	県民参加による森林の整備活動や森林学習等の活動の取組支援	183件
6. 森林環境教育の推進	専門家の派遣や学校での森林教育などによる木育を推進	80件
7. 木材利用の推進	県産木材の利用を進める施設への支援など	11件

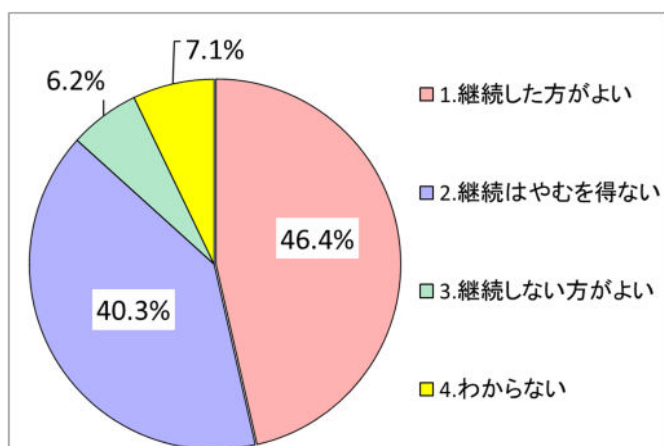


質問12.「ながさき森林環境税」の負担額(1人あたり年間 500 円)についてどのように思われますか。



項目	回答数	割合
1. 現行の500円の負担が適当	180	58.4%
2. もっと負担してもよい	48	15.6%
3. 500円の負担は高い	33	10.7%
4. わからない	47	15.3%
合計	308	100.0%

質問13. 令和9年度以降も「ながさき森林環境税」を継続していくことについてどのように思われますか。

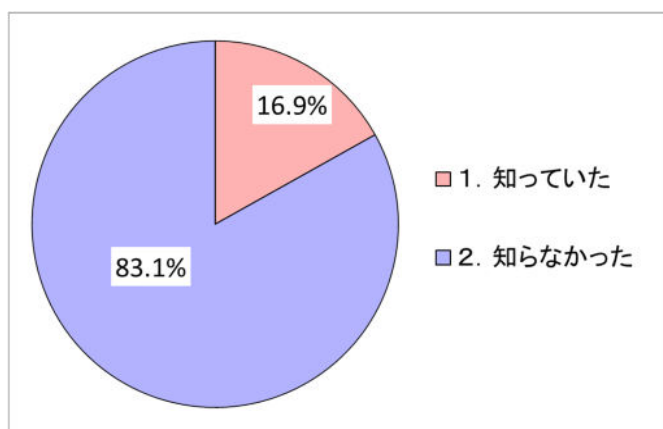


項目	回答数	割合
1. 継続した方がよい	143	46.4%
2. 継続はやむを得ない	124	40.3%
3. 継続しない方がよい	19	6.2%
4. わからない	22	7.1%
合計	308	100.0%

(次ページにつづく)

質問14. あなたは国の「森林環境税」を知っていましたか。

項目	ながさき森林環境税	国の森林環境税・森林環境譲与税
目的	県民共有の財産である森林の公益的機能発揮のための森林環境保全及び全ての県民で森林を守り育てる意識づくりを図る施策の推進	地球温暖化防止や災害防止等のための市町村を主体とした森林整備等の推進
対象森林・使い道	● 県 ・経営管理され、資源を循環していく人工林及び天然林の整備への支援 ・そのほか森林ボランティア支援・木育支援など質問11に記載している取組への支援	● 市町村 ・現在、経営管理されていない人工林の森林整備・森林整備を担う担い手の確保・育成など ● 県 ・市町が実施する施策の支援
導入年	平成19年	・令和元年度に「森林環境譲与税」の市町への譲与開始。 ・令和6年度から、森林環境譲与税の財源となる「森林環境税」の課税開始。
税額	個人:年額500円 法人:均等割(年額)5%	個人:年額1000円
税収等	約3.9億円	長崎県への譲与額 市町村:約5.8億円 県:約0.6億円



項目	回答数	割合
1. 知っていた	52	16.9%
2. 知らなかった	256	83.1%
合計	308	100.0%